



優 秀 賞

取組名：ラジオで発信！多文化共生のまちづくり



取組団体

TABUWATA (タブワタ)
株式会社
宇都宮コミュニティメディア



ミヤラジ収録時の様子

取組の概要

- ◆宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」で外国人住民が主体的に関わり、防災情報等を多言語で発信しています。
- ◆ラジオ放送を通して、多文化共生へ興味を持つきっかけを作っています。
- ◆外国人への情報発信や多文化共生に向けての相互理解を促進しています。

取組の成果

- ◆災害時に備え日頃からの多言語放送の必要性等について理解を深めることができました。
- ◆誰もが暮らしやすい、多文化共生の地域づくりに寄与しました。
- ◆多言語での防災訓練が実現しました。

活動の展望

- ◆いつでも、誰にでも頼りになるコミュニティFMを目指し、多文化共生をキーワードに誰もが暮らしやすいまちづくりを目指します。

受賞のポイント

- ◆外国人住民が主体となり、コミュニティFMの番組作成・放送を行い、多文化共生の地域づくりに寄与した取組であることが評価されました。

令和4(2022)年度
第6回



表彰事例の紹介

栃木県では、NPO・ボランティア団体等が地域課題の解決に向けて行う優れた社会貢献活動を「輝く“とちぎ”づくり表彰（栃木県知事表彰）」として表彰しています。

第6回目となる令和4（2022）年度は、最優秀賞1取組1団体、優秀賞3取組8団体を表彰しました。

輝く“とちぎ”づくり表彰制度

【表彰の対象となる取組】

- 次に掲げる要件を全て満たす取組であること
 - ①栃木県内に拠点を有するNPO等が主体となった取組であること
 - ②栃木県内で現在継続中の取組であること
 - ③行政機関からの委託による取組でないこと
- ※令和4年度から、協働による取組に加えて、NPO等が単独で行う社会貢献活動も表彰の対象としました。

【評価項目】

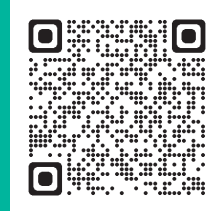
創意性、成果、発展性、波及性、連携度（協働の取組の場合）の観点から総合的に評価

【応募方法】

自薦又は他薦

【問合せ】

栃木県生活文化スポーツ部県民協働推進課
〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田 1-1-20 本館7階
電話：028-623-3422 FAX：028-623-2121
MAIL：kyodo@pref.tochigi.lg.jp



詳細はホームページを御覧ください。



栃木県誕生150年
みんなで創る、未来のとちぎ

とちぎ協働推進大会



記念講演
「支え合う地域づくりー協働から共創へー」
講師 特定非営利活動法人とちぎユース・サポーターズネットワーク
代表理事 菅井 豊宗 氏

令和4(2022)年度輝く“とちぎ”づくり表彰 表彰式
〔令和4(2022)年11月11日栃木県総合文化センターにて〕



最優秀賞

取組名：渡良瀬川源流域の森再生プロジェクト



取組団体 特定非営利活動法人足尾に緑を育てる会



春の植樹デー



春の植樹デー



体験植樹前の説明の様子

取組の概要

- ◆足尾銅山の煙害等で荒廃した足尾の山の緑化活動を通じて水環境系を中心とした環境問題に取り組むとともに、渡良瀬川源流域の問題を考え、もって自然環境の健全化ならびに地域社会の伸展に寄与することを目的として活動しています。
- ◆「自然環境を大切にすることを育む学び舎です」を基本理念に「見て、学んで、体験できる」足尾ならではの環境学習を実施しています。
- ◆「足尾グリーンフォーラム」にて環境に関する講演会・シンポジウムを行い、様々な課題を検討するとともに、上下流域で参加者相互の交流を深めています。また、パネル展、荒廃地を歩くフィールドワーク、町民や子どもも楽しめるイベントも開催しています。
- ◆今年度で26回目となる「春の植樹デー」には千人以上のボランティアが植樹に参加し、緑化活動を行いました。
- ◆「体験植樹」には、首都圏を中心に小学生をはじめ約8千人が1万2千本以上の苗木を植樹しました。
- ◆これまで体験植樹や植樹デーなどを合わせて約21万人が延べ27万本の植樹を行いました。

取組の成果

- ◆実際に木を植えることを通して、環境問題への関心を高めることができました。
- ◆植樹体験から緑化以外の身近な環境問題についても考えるきっかけを作りました。
- ◆荒廃裸地化した急斜面に木を植えることで、災害防止に寄与しました。

活動の展望

- ◆足尾の山に緑を取り戻すには、今後100年以上もかかるといわれています。活動を継続し、100万本の木を植えることが目標です。
- ◆スタッフの高齢化、植樹サポーター不足が大きな課題となっているため、人材の確保に努めます。

受賞のポイント

- ◆平成8（1996）年から長きにわたり、県内外から約21万人を受け入れ、官民協働により延べ27万本を植樹したという実績が高く評価されました。
- ◆植樹活動とともに環境学習も行うことで、参加者がゴミや水・電気などの身近な環境問題にも目を向けるきっかけを作っていることも評価されました。



優秀賞

取組名：SDGs で子どもを応援



取組団体

特定非営利活動法人栃木県子ども応援なないろ、宇都宮海星女子学院中学校・高等学校、一般社団法人栃木県若年者支援機構、タキヤ会議、特定非営利活動法人フードバンクうつのみや



朝ごはんカフェの様子

取組の概要

- ◆企業から食品の寄附を受け、子ども達に無償で提供する活動（朝ごはんカフェ、フードパントリーなど）を行っています。
- ◆フードバンクうつのみやの食品配布会でリユースランドセル譲渡会を行い、食以外の支援も行っています。

取組の成果

- ◆子どもの食の貧困を一時的に解消するとともに企業のフードロスを削減することができました。
- ◆本取組に興味を持った学生がボランティアとして活動する契機となりました。

活動の展望

- ◆さらに多くの企業等に御協力いただき、活動を通じて子どもの困難な状況に向き合い行動できる大人を増やし、解決に尽力します。

受賞のポイント

- ◆企業や学校等との協働により食生活を支援するとともに、見落とされがちなランドセルや制服などの生活分野にも支援を拡げていることが評価されました。

取組名：大柿地区の豊かな自然を守り・活かし次世代が活躍出来る場所の創出



取組団体

特定非営利活動法人 自然史データバンクアニマ net

取組の概要

- ◆野生鳥獣の被害が多い大柿地区で、地域の高齢化が進む中、学生や不登校児童・生徒とともに里山の整備を行い、自然保護活動を実施しています。
- ◆毎月2回の森カフェ・生きもの調査隊を実施しています。
- ◆伐採木を利用した空き家のリノベーションを行い、店舗利用希望者や移住者へ提供しています。

取組の成果

- ◆野生鳥獣被害の低下につなげることができました。
- ◆空き家問題を一部解決することができました。



伐採木の活用(空き家リノベーション)

活動の展望

- ◆教育委員会と連携し、不登校児童・生徒及びその家族の居場所創出を図り、不安を解消し、将来への希望と夢を抱くことができる環境づくりを進めます。

受賞のポイント

- ◆里山整備や野生鳥獣の被害軽減のための活動を、地域の学生や不登校児童・生徒などの若い力を使い行っていることが評価されました。